


ゴミの問題で多くの海洋生物が傷ついて死んでいます

プラスチックの危険性は、プラスチックに含まれる化学物質や、分解されて生じるマイクロプラスチック（微細なプラスチック粒子）によるものです。これらは、生態系への悪影響、生体への蓄積、そして様々な健康被害を引き起こす可能性があります。



日本におけるポイ捨ての年間量を示す公式な統計データはありませんが、環境省の調査から、散乱ごみのうちタバコの吸い殻が最も多く、次いで飲料容器が上位を占めています。また、タバコの吸い殻だけでも年間1000億本以上がポイ捨てされている可能性がありますと推計されています。

ポイ捨て問題の深刻さ

- 環境への影響:ポイ捨てされたごみは、雨水によって河川や海に流れ込み、環境汚染や生態系への悪影響を引き起こします。特にプラスチックごみは海洋汚染の大きな原因の一つです。
- 景観の悪化:ポイ捨ては景観を損ない、地域的美観を低下させます。
- 処理コストの増加:ごみのポイ捨ては、清掃活動や処理にかかるコストを増加させます。

最後まで見てくれてありがとうございます
ございました。皆さんもゴミは
ちゃんと捨てましょう。

